

# クラウド会計ソフトによる記帳作業のフロー（イメージ）

## 【クラウド会計ソフト登場以前】



## 【クラウド会計ソフト登場以降】



# まとめ

- 帳簿の電子化は、事業者にとって経理事務の軽減はもとより、試算表や月次決算が容易になる等経営面からもメリットあり。
- 行政にとっても電子帳簿・電子申告の促進は徴税コストの低減に寄与。



- 税務申告のための帳簿にとどまる事業者は多いが、**コロナ禍は、帳簿の重要性や電子化の効果を改めて認識する機会**となった。
- 一方で、バックオフィスに人員を割けない**中小・小規模事業者が電子帳簿保存に**取り組もうとしても、紙保存より**厳格な要件をクリアするのは極めて困難。**



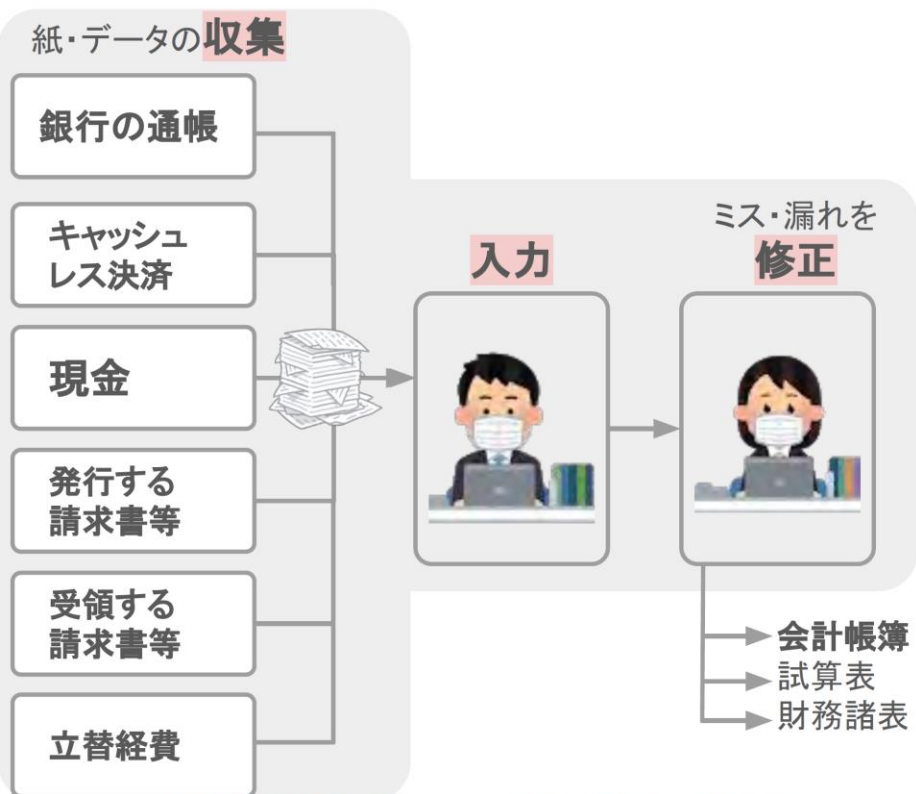
- 小規模事業者は、これまでシステムベンダーのサポートが届きにくく、デジタル化が困難とされていたが、安価で使い勝手の良い**クラウド会計の登場で、小規模事業者でも電子帳簿・電子申告に取り組みやすい環境が整備されつつある。**
- **コロナ禍でデジタル化への機運が高まる今が電子帳簿促進の好機。**
  - 小規模事業者に対して、帳簿や証憑書類の電子化を促すインセンティブ措置を講じることで、電子帳簿促進の機運の盛り上げが必要。
  - あわせて、事業者の経理体制に応じた電子帳簿保存法の要件緩和が必要。特に改ざん防止等一定の要件を満たした会計ソフトを導入した小規模事業者に対して大胆な要件緩和が必要。

# 中小企業における会計業務のデジタル化と紙保存

(令和2年10月7日専門家会合 新経済連盟資料抜粋)

# (1) 従来の記帳業務とクラウド会計ソフトの比較

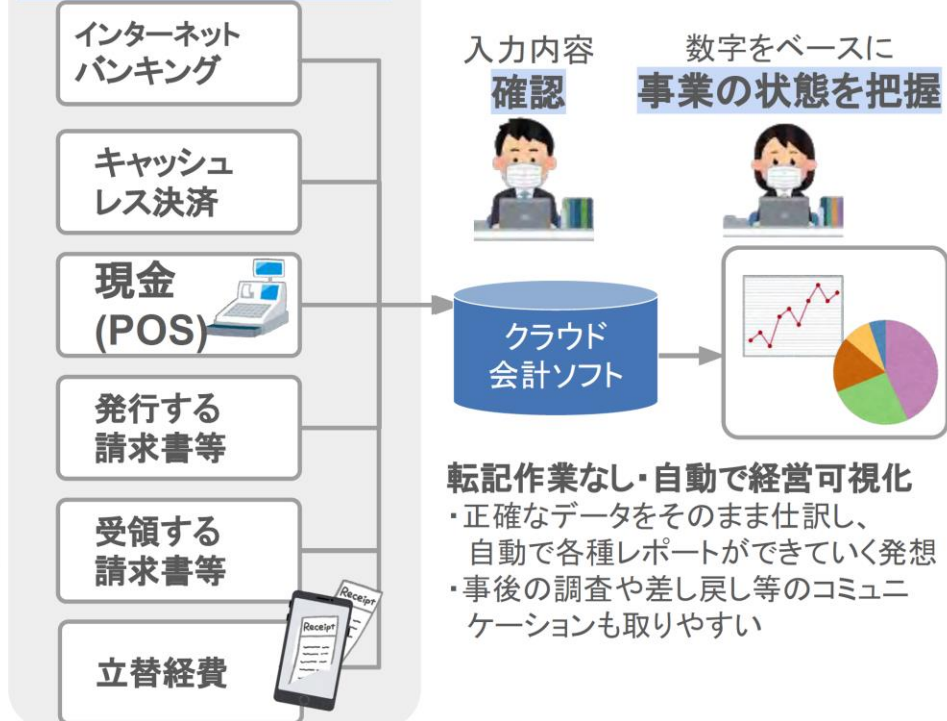
## 従来の記帳業務のフロー



- ・手作業によるヒューマンエラーリスク
- ・月次決算に二か月かかることも

## クラウド会計ソフトを用いた業務フロー

連携先システム・紙をデジタルに変換したデータを  
**リアルタイムでデータ入力**



- 転記作業なし・自動で経営可視化**
- ・正確なデータをそのまま仕訳し、自動で各種レポートができていく発想
  - ・事後の調査や差し戻し等のコミュニケーションも取りやすい

- ・入力から仕訳までデータで一気通貫
- ・経営のための分析業務へ時間を割ける